

Q

足の親指の付け根が痛みます。
母趾種子骨障害と言われました。



社会医療法人三車会
公式キャラクター
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ
テーション病院

手外科専門医・足の外科認定医
整形外科専門医

谷口 泰徳 副院長

A

足の親指の付け
根の裏側には2つ
の小さなタネの様

な骨があり、母趾種子骨（ぼし
しゅしこつ）と呼ばれます。こ
の母趾種子骨に障害がおこる
と痛みや腫れがでて、足の親指
を上に戻すのが困難になり
歩行やランニングに支障がで
ます。原因はスポーツや仕事で
強いストレスが繰り返し足裏
の母趾種子骨にかかり障害が
発生します。陸上競技、バスケ
ットボール、野球などよく走る
スポーツや床を踏み込む動作
が多いダンスや空手、剣道など
にも見られます。主な痛みの要
因は種子骨の炎症、骨折などで
すが、生まれつき種子骨が2つ

に割れている場合があります、これ
も痛みの原因になります。

足のレントゲン検査、CT、
MRI検査が診断に有用で、こ
れらの検査で種子骨に分裂な
どの異常が発見されます。治療
はまず原因となったスポーツ
活動や労働などを制限し、ステ
ロイド剤を局所注射します。母
趾の付け根の裏側への負担を
減らすために、足底板を作成し
装着します。保存的治療で改善
せず痛みが強いときは手術に
なります。手術は痛みの原因と
なっている種子骨を切除しま
すが、数週間で元に復帰できま
す。この骨を取っても問題はあ
りません。詳しいことは足の病
気の専門医にご相談ください。